



2050 中国代表
孫若槐さんの声

「植林用の沙棘(サージ)の苗木を農家に栽培してもらい、それを買い上げるといふ形で、緑化と貧困解消の両方にコスモ石油エコカード基金の支援を役立てたいと考えています。沙棘の木は中国内陸部の乾燥地帯に適応できるだけでなく、実は葉になりますし、根は空気中の窒素を固定し、土壌の滋味を豊かにします。コスモ・ザ・カード「エコ」会員の皆様も、ぜひシルクロード緑化にご参加ください。」

シルクロード各都市で、 植林と環境啓発活動を支援しています。

プロジェクトパートナー/NPO法人 2050
助成金額 / 500,000円

中国・黄土高原は日本の1.4倍の面積、52万km²もあり、「西部大開発」*に伴う環境破壊によって、さらなる砂漠化が進行しています。砂漠化は黄砂の増大をはじめ、黄河の保水能力の低下や中下流での渇水、一方、大雨が降ると一気に流出し洪水を引き起こすなど、人々の生活に重大な影響を与え始めています。NPO「2050」は、砂漠化防止に取り組む学生が中心になって設立した環境団体とともに、地方政府や一般市民を

巻きこんで、植林活動を実施しています。効率的な植林を行うために、中国地方政府の緑化計画とタイアップし、シルクロード沿いを中心とした約12.5kmの土地に植林することを決定しました。エコカード基金は、苗木を購入する資金として活用される予定です。さらに、地域の方々や学生に対して緑化の必要性を検討する勉強会などの啓発活動を通じて、砂漠化の弊害に対する理解促進にも取り組んでいきます。



*中国東部と西部の経済格差を改善するために、四川省、雲南省、貴州省、チベット自治区、重慶市などの西部地域を対象に、中国政府が実施している政策です。道路・鉄道などのインフラ建設、農耕地を森林などに戻す生態系保護、産業構造の調整、科学技術・教育の発展などを主なテーマとしています。1999年、西安において開催された西北5省国有企業改革座談会の席上、江沢民総書記が西部大開発実施を提起したことが契機となって、この開発がスタートしました。